



●災害の記憶を次世代に伝える●

地域資源を活かした安心・安全な街づくり

豊岡市は、大正14年(1925年)の北但大震災や平成16年(2004年)の台風23号などの地震、風水害により甚大な被害を受けた経験があり、防災に関する様々な取り組みがなされています。しかし、近年、少子高齢化の進展が著しく、若年層人口の流出も大きな中で、地域の防災力を高めることが重要な課題となっています。

園田学園女子大学は今年度、日高町の小学生とともに地域の良さを再認識、再発見するワークショップを開催しました。その成果をふまえ、安心・安全なまちづくりを進めていくために、災害の記憶をどのように次世代に伝えることができるか。このシンポジウムでは、地域で伝えてきた記憶・記録の継承について考えます。

日 程： 2016年2月28日(日)
時 間： 13:30~16:00
会 場： 日高農村環境改善センター
参加人員： 50名
参加費： 無料

主催：園田学園女子大学
協力：豊岡市立歴史博物館・但馬国府・国分寺館一
後援：豊岡市教育委員会



—プログラム—

13:30~14:10 第1部 豊岡市の災害の記憶
発表者 松井敬代(豊岡市立歴史博物館 副館長)

14:10~14:20 休憩

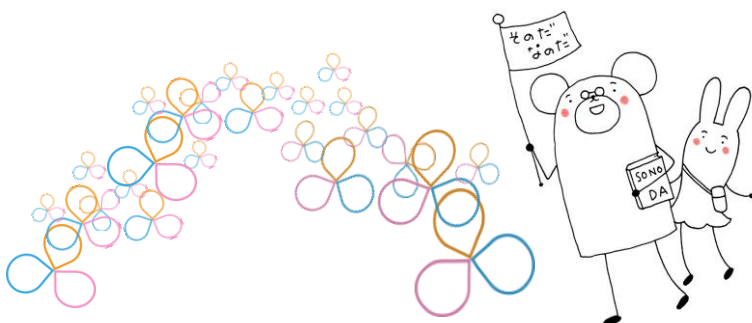
14:20~15:20 シンポジウム「災害の記憶を次世代に伝える」

パネラー 野呂千鶴子(園田学園女子大学教授・公衆衛生看護学)

上相英之(神戸学院大学現代社会学部研究員・金石学)

石原凌河(人と防災未来センター研究員・地域防災)

コーディネーター 大江篤(園田学園女子大学教授・日本民俗学)



お問い合わせ・お申込み

園田学園女子大学
園田学園女子大学短期大学部
地域連携推進機構

〒661-8520

兵庫県尼崎市南塚口町7丁目29-1

Tel :06-6429-9921(直通)

Fax:06-6422-8523(代表)

E-mail:chiikirenkei@sonoda-u.ac.jp